

流域治水プロジェクトの取組事例集 (田越川水系)

(田越川流域治水協議会)

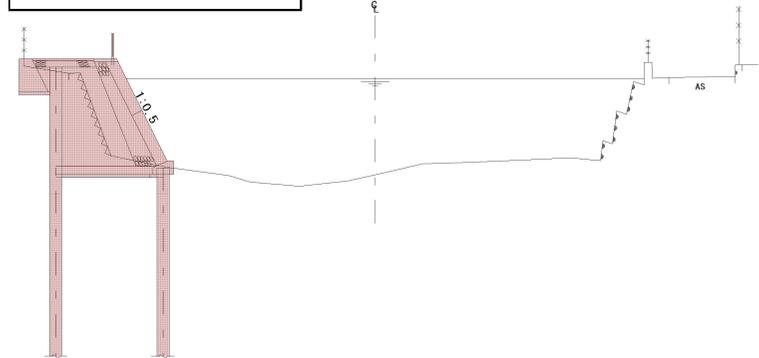
- 田越川水系においては、「田越川水系河川整備計画（平成31年3月）」に基づき、時間雨量50mmの降雨による洪水を安全に流下させるため、河道整備（護岸整備、河道掘削、橋梁架替等）を進めている。

実施状況

平面図



整備イメージ



施工状況写真（護岸改修）



対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
河川改修事業による河道整備	神奈川県	▶		

田越川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
神奈川県

- 逗子市においては、平成25年度より下水道総合地震対策計画に基づき、下水道施設の耐震化を行ってきている。管渠・マンホールの耐震化については、令和3年度に計画を改定し、令和4年度より緊急輸送路下等から優先順位をつけて行っている。

実施状況

整備前

震災が起こった際、液状化によるマンホールの浮上、管渠の破断等が起こり、降雨時に水の流下が出来なくなり、内水氾濫の危険性が増加する。



液状化被害写真（マンホール浮上）
出典：下水道管路施設における耐震化技術の有効性 国土交通省資料

整備後

管渠・マンホールの耐震化を行うことにより、降雨時の流下能力の確保を行うことが出来るようにし、内水氾濫の危険性を減少させる。
また、緊急輸送路下の耐震化を行うことにより、災害があった際に物資輸送路の確保等を行うことが出来るようになる。

対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
雨水排水施設の整備	逗子市	▶		

田越川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体

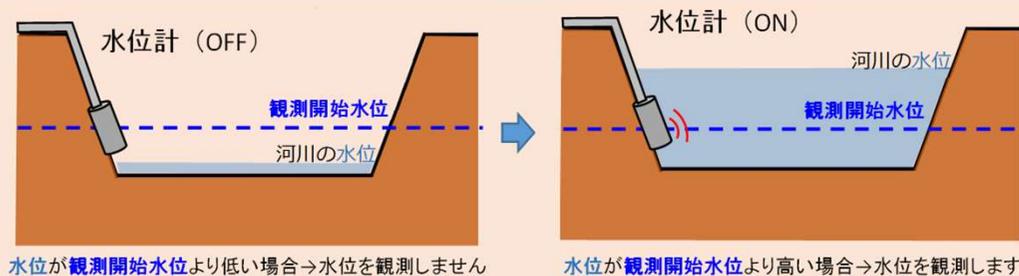
逗子市

- 住民の適切な避難判断のための水位情報提供を目的に、これまで水位計の無かった箇所でも水位把握できるよう、洪水時の水位観測に特化した低コストな水位計を設置することで、出水時の水位観測により避難体制の強化を図る。

取組内容

■危機管理型水位計とは

- ・ 洪水が発生した際に、河川周辺の住民の皆様が避難する際に、役立てていただくために設置する水位計。
- ・ 河川が未整備のため注意を要する箇所や、学校や病院など、重要な施設が周辺にある箇所に設置。



■危機管理型水位計の設置事例



■県ホームページから水位状況を確認することが可能



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
危機管理型水位計・簡易河川監視カメラの設置	神奈川県	▶		

田越川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
神奈川県

